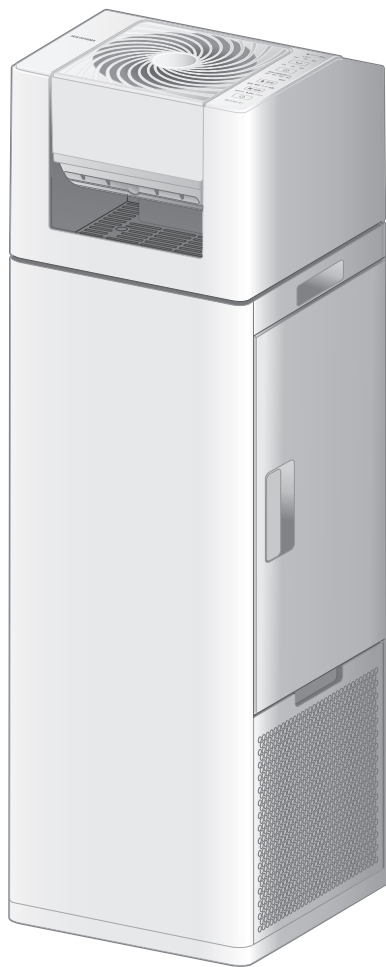




取扱説明書 サーキュレーター付 加湿空気清浄機 型番 KCHA-A55

製品の最新情報は当社WEBサイトで
ご覧いただけます。

[https://www.irisohyama.co.jp/products/electrical-appliances/
seasonal-appliances/aircleaner/humidifying-function/](https://www.irisohyama.co.jp/products/electrical-appliances/seasonal-appliances/aircleaner/humidifying-function/)



室内・家庭用・日本国内専用 (FOR USE IN JAPAN ONLY)

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見るできるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご使用の前に

安全上の注意	3
設置の注意	6
使用上の注意	7
各部の名前と働き	8
本体	8
操作パネル	9

取り扱いかた

準備する	10
使いかた	14
空気清浄運転	14
加湿空気清浄運転	14
切タイマー	15
イオンモード	15
給水ランプが点滅したとき	15
お手入れランプが点滅したとき	15
サーキュレーターの首振り	16
チャイルドロック	16
減光モード	17
ほこりセンサー	17
移動するときは	17

お手入れ

吸気口カバー（プレフィルター）	19
水タンク	20
加湿トレイ	20
加湿フィルターユニット	21
銀ビーズユニット	22
脱臭フィルター	23
集塵フィルター	23
本体	23
サーキュレーター部	24
加湿フィルターの交換	25
集塵フィルターの交換	25
長期間使用しないとき	26

こんなときは

よくあるご質問	27
こまったときは・・・	28

アフターサービスとその他の内容

仕様	30
別売品	31
保証とアフターサービス	31

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に
差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動するときは、必ず
運転を停止し、電源プラグをコンセント
から抜く
感電やけがの原因になります。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを
持たずに、必ず電源プラグを持って引き
抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因にな
ります。

- 長期間使わないときは、必ず電源プラグ
をコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になり
ます。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしな
い
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電
源コードは、必ずのばして使用してください。

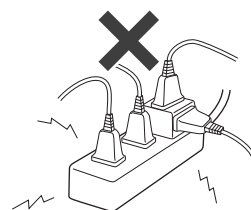
- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コ
ンセントの差し込みがゆるいときは使わ
ない
ショートによる火災・感電の原因になります。
電源コードが破損したときは、修理専用コ
ールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ
張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張
る、ねじる、重いものを載せる、はさみ込む
などしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因にな
ります。

- コンセントや延長
コードなどの定格を
超える使いかたをし
ない
火災の原因になり
ます。



- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、
潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナー
など）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使わない
引火して火災の原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、
電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- ・ 異常な音やにおいがする
- ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかつ
たりする
- ・ 運転中時々電源が切れる
- ・ 触れるとピリピリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはア
イリスコールへお問い合わせください。

安全上の注意 つづき



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しない
- 水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



- 屋外で使用しない
故障して火災の原因になります。
- 子どもなど取り扱いに不慣れな方だけで使わせない
- 乳幼児に触れさせない
けがや感電の原因になります。
- 不安定な場所に置かない
転倒すると、水がこぼれて家財などをぬらしたり、感電や火災の原因になります。
転倒したときは、水を拭き、十分乾かしてから電源プラグを差し直してください。

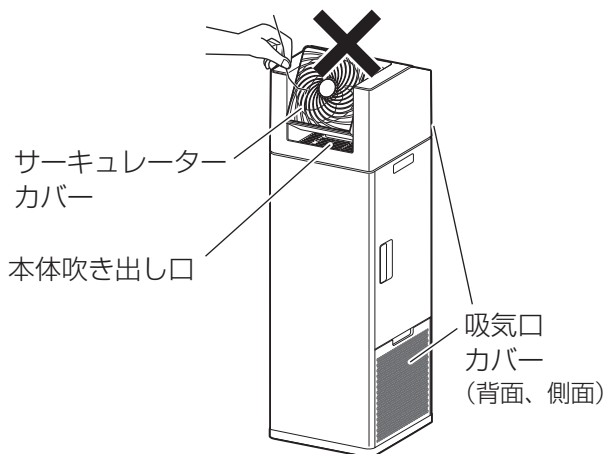


分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けが・やけどの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- サーキュレーターカバー、本体の吹き出し口・吸気口カバーにもものや手を入れない
感電やけがの原因になります。



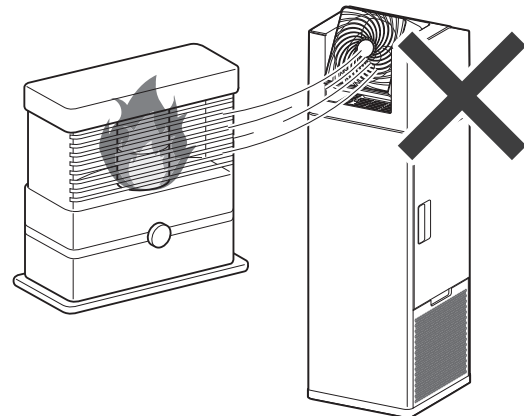
火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
- 可燃性のものや、火のついたたばこ・線香などを近づけない
火災の原因になります。

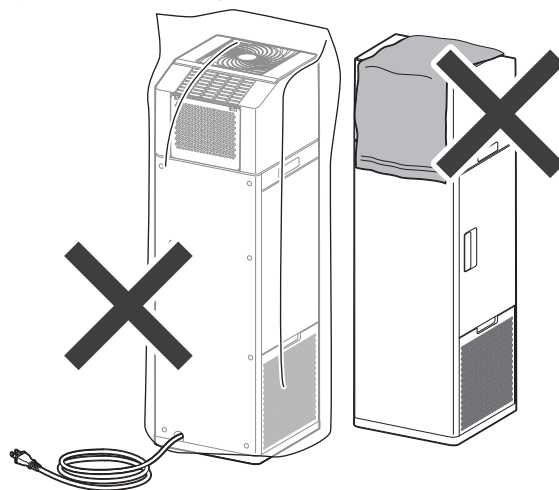


- 燃焼器具と一緒に使う場合は換気する
一酸化炭素中毒の原因になります。
※ 本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去するものではありません。

- 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



- サーキュレーター・吹き出し口・吸気口カバーを、布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない
過熱して火災の原因になります。





注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

水タンクの水について



- **毎日新しいものに取り替える**
水タンクは毎日振り洗いし、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発したり、空気を汚染して疾病の原因になります。
- **加湿運転を1週間以上使用しない場合は、必ず水タンクおよび加湿トレー内の水を捨てる**
水が入ったまま放置すると、異臭を発したり、空気を汚染して疾病の原因になります。



- **凍結しそうなときは、水タンクおよび加湿トレー内の水を捨てる**
凍結すると、故障・水もれにより、周囲の汚損の原因になります。



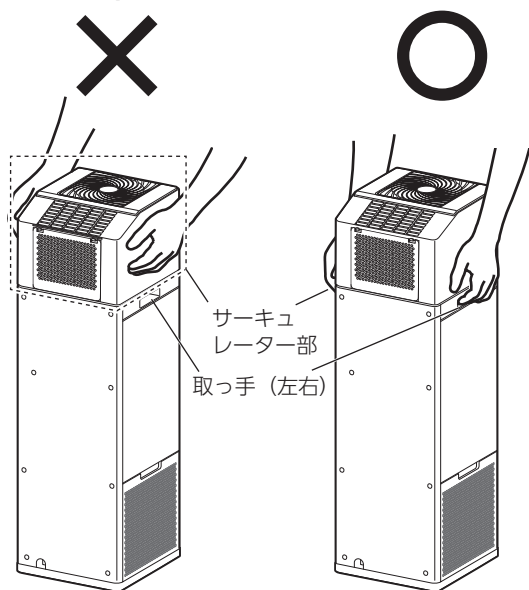
- **水道水以外は使用しない**
40℃以上のお湯・化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。
かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などを起こして、水もれや周囲の汚損の原因になります。

- **残った水を料理や飲み水に使用しない**
健康を害する原因になります。

設置・移動するときは



- **本体を移動するときは運転を止め、水タンクを抜いて加湿トレーの水を捨てる**
水がこぼれて家財などをぬらしたり、感電や漏電の原因になります。
- **本体を移動するときは、安全のため取扱いには十分注意する**
必ず、本体の取っ手を持って運んでください。サーキュレーター部を持ち上げると、破損してけがの原因になります。



運転するときは



- **水平で安定した床の上で使用する**
毛足の長いカーペットや布団の上などで使用すると、転倒してけがをしたり水もれしたり火災の原因になります。



- **上に乗ったり、寄りかかったり、ものを置いたりしない**
転倒によるけがや火災の原因になります。

- **本体を倒さない**
水がこぼれて感電や故障の原因になります。

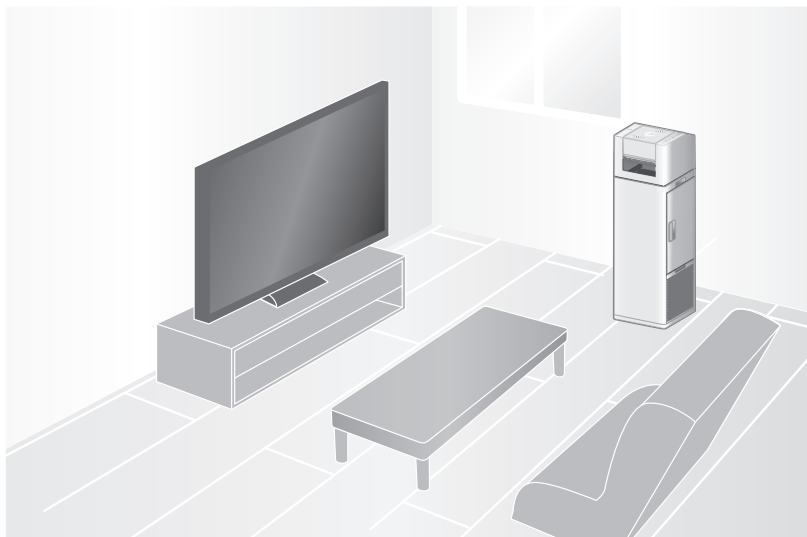
- **サーキュレーターの羽根やサーキュレーターカバーを取り付けずに運転しない**

- **本体の吸気口カバーや水タンクを取り付けずに運転しない**
けが・感電・火災の原因になります。

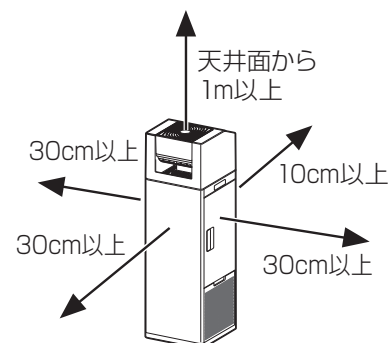
- **風を直接身体に当てない**
非常に強力な風を発生します。特に、小さなお子様やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。

- **動植物に直接風を当てない**
害を与えるおそれがあります。

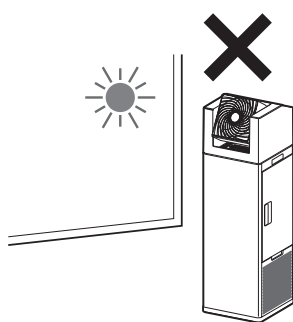
設置の注意



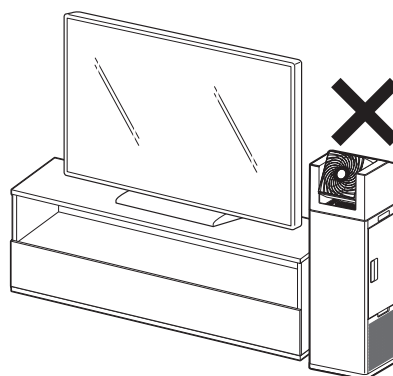
- 設置の際は、カーテン・壁・家具などから右図に示す距離を離してください。
カーテンや壁、家具の汚損の原因になります。
- 加湿された風が、テレビなど電気製品に直接当たるところに設置しないでください。
電気製品に結露すると、電気製品の故障の原因になります。
- ホットカーペットなどの上で使用しないでください。
転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。



- この製品は屋内用です。屋外では使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しないでください。
変形・変色したり、湿度表示ランプが正しく表示しなくなることがあります。



- 加湿運転時、天井に結露が見られる場合は、サーキュレーターの吹き出し口を傾けて使用してください。(→P16)
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



使用上の注意

- ベンジンやシンナーで拭いたりしないでください。
破損・故障の原因になります。
- 水タンクやフィルターを正しく取り付けてください。
正しく取り付けないと、水もれや周囲の水ぬれの原因になります。
- 吹き出し口や吸気口カバーをふさがないでください。
水もれや過熱の原因になります。
- 化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを水タンクや加湿トレーに入れないでください。
水タンク、加湿トレーが破損して家財などをぬらす原因になります。
- 運転中に加湿トレーを取り出さないでください。
家財などをぬらす原因になります。
加湿トレーは運転を停止して、約1分以上経ってから取り出してください。
- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など、磁気の出る機器の近くで使用しないでください。
誤動作することがあります。
- 本体の近くでは、超音波加湿器などは使用しないでください。
集塵フィルターが目詰まりして清浄効果が得られなくなることがあります。

使用環境について

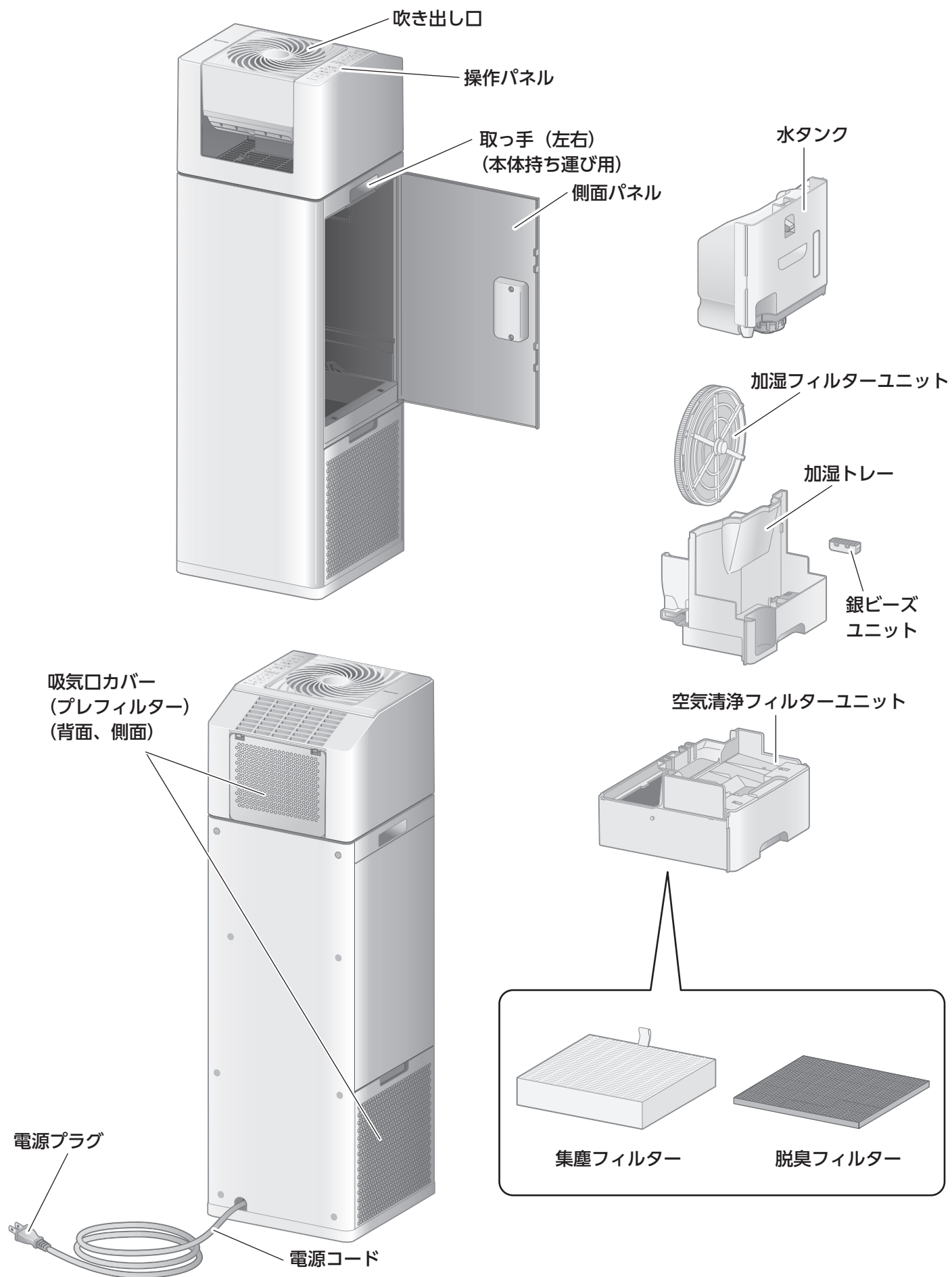
- 室温は5～35℃で使用してください。
室温が低いと、床ぬれや結露が起こりやすくなります。
- 水平で安定した床の上で使用してください。
転倒時けがをしたり、水もれしたり、給水が不十分になり加湿できなくなったりします。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名前と働き

本体



操作パネル

チャイルドロックランプ

タイマーボタンを約3秒長押しすると、ロック・解除されます。(→P16)

イオンランプ (→P15)

首ふりボタン・ランプ

左右首ふりの角度を切り替えます。ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。(→P16)

→ 30° → 60° → 90° → 消灯 (首ふり停止) →

タイマーボタン・ランプ

切タイマーを設定します。ボタンを押すたびに、次のように切り替わり、タイマーがスタートします。

→ 2h → 4h → 8h → 消灯 (タイマー解除) →

残り時間に合わせて点灯するランプが切り替わり、残りの時間がなくなると運転を停止します。(→P15)

湿度表示ランプ

室内の現在の湿度目安を表示します。(30%、40%、50%、60%) (→P14)

※ 湿度表示は目安です。室内の湿度計の表示とは異なる場合があります。

給水ランプ

加湿中水がなくなると給水ランプが点滅します。給水されると消灯し、加湿を開始します。(→P15)

加湿ボタン・ランプ

加湿を開始します。ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。(→P14)

→ ON → OFF →

空気清浄ボタン・ランプ

空気清浄運転を開始します。ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。(→P14)

→ 静音 → 標準 → ターボ → 自動 →

お手入れランプ

使用開始から2週間後に点滅します。を約3秒長押ししてリセットします。(→P15)



を約3秒長押しして

電源切/入ボタン

運転を停止/開始します。(→P14)

ほこりセンサーランプ

ほこりの量に応じて点灯します。(→P17)

きれい→消灯 汚れている→赤点灯

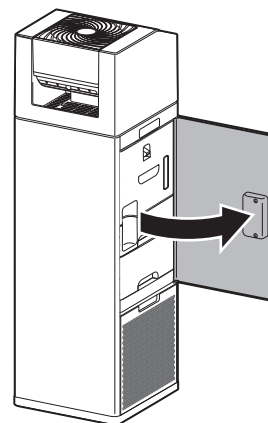
操作パネルはタッチ式です。

- 操作部や指がぬれていたり、汚れていたりすると、反応しない場合があります。その場合は、乾いた布で拭いてください。
- 周囲の温度、湿度、操作する人の体調、近くの電気製品の動作状態により反応が変わる場合があります。

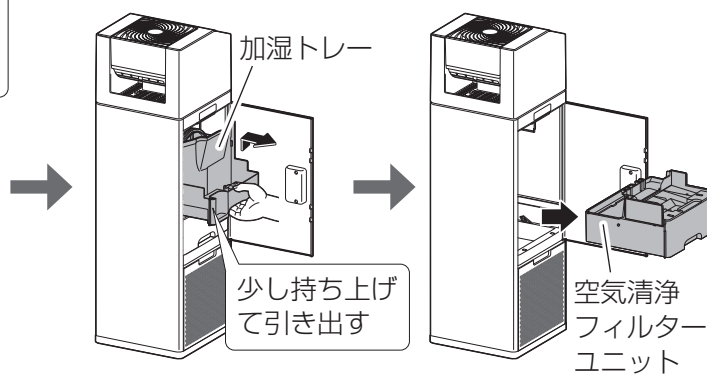
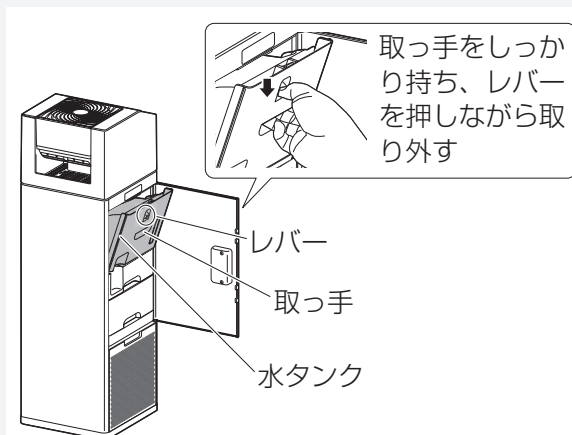
- 操作するときは、しっかりタッチしてください。触れる時間が短かったり、触れる場所がずれていたりすると、反応しない場合があります。反応しないときは、一度指を離して、再度タッチしてください。

準備する -集塵フィルター・脱臭フィルターを取り付ける-

1 側面パネルを開ける

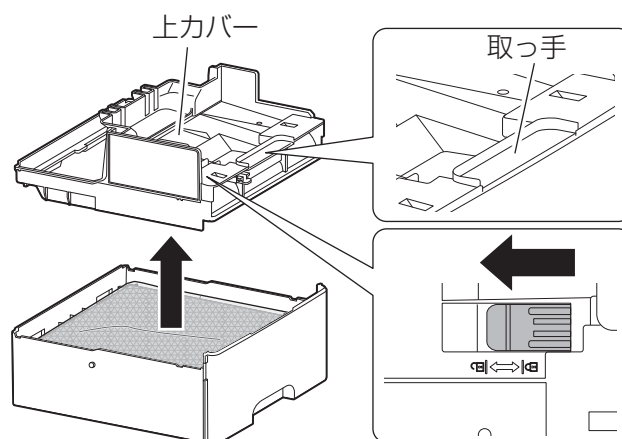


2 水タンク→加湿トレー→空気清浄フィルターユニットの順に取り外す



3 空気清浄フィルターユニットの上カバーを取り外す

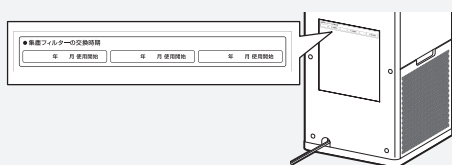
- ①空気清浄フィルターユニットの上カバーの固定つまみを  側にし、ロックを外す
- ②上カバーの取っ手をもち上げる



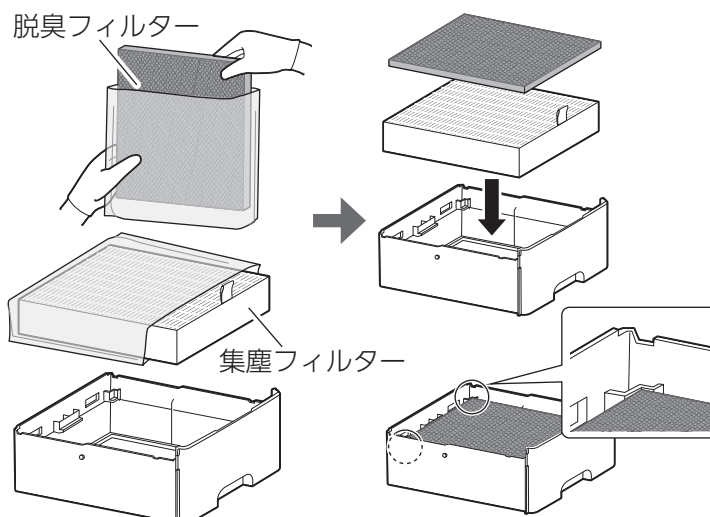
4

脱臭フィルターと集塵フィルターを袋から取り出し、空気清浄フィルターユニットに取り付ける

- ・脱臭フィルターが入っていた袋はお住まいの地域のごみ分別方法にしたがって処理してください。
- ・脱臭フィルターを取り出すときは、手袋を着用してください。(脱臭フィルターの粉で手が汚れることがあります。)
- ・脱臭フィルターに表裏はありません。
- ・本体裏に油性ペンで使用開始年／月を記入してください。



脱臭フィルター



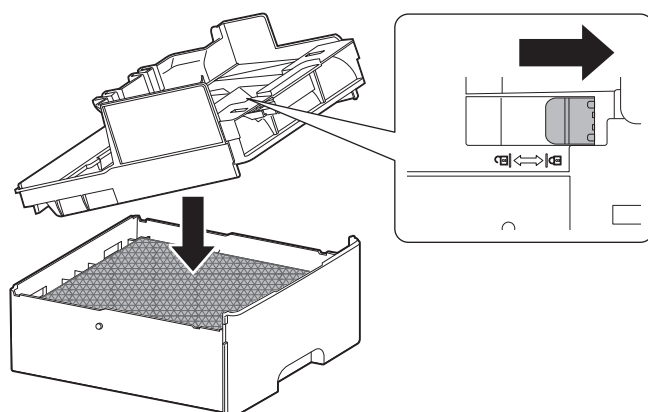
集塵フィルター

脱臭フィルターの左右の角が図のように収まる向きにセットしてください。

5

空気清浄フィルターユニットの上カバーを取り付ける

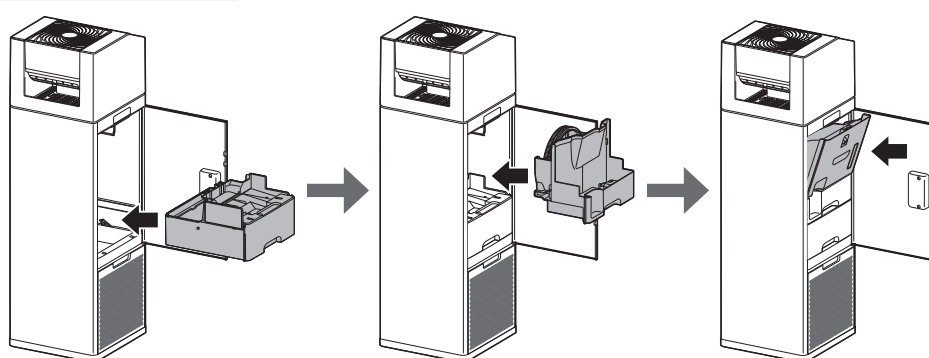
- ・空気清浄フィルターユニットの上カバーを取り付け、固定つまみを  側にし、ロックします。



6

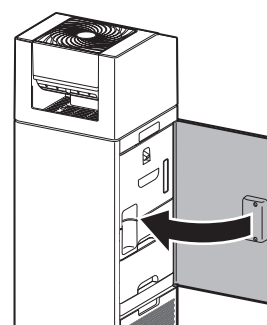
空気清浄フィルターユニット→加湿トレー→水タンクの順に取り付ける

- ※ 空気清浄フィルターユニット・加湿トレー・水タンクは、かみ合うようにしっかり押し込んで取り付けください。



7

側面パネルを閉じる



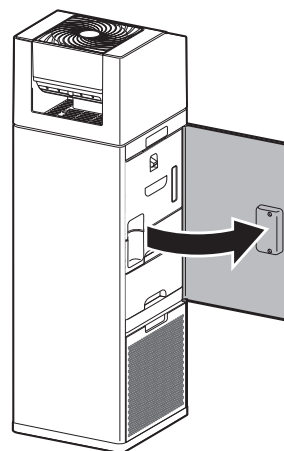
準備する -加湿機能を使用する場合-

■ 水タンクに給水する

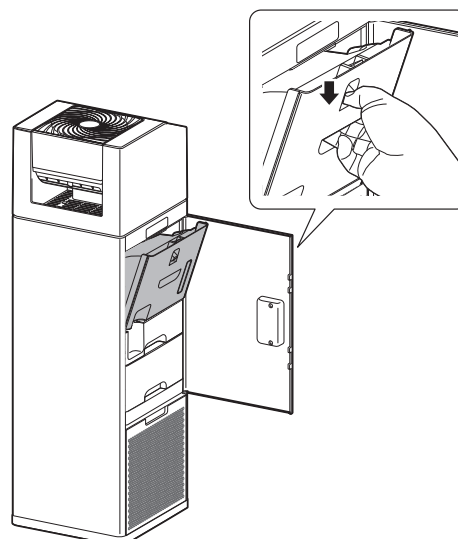
加湿運転するときは、水タンクに給水してください。

※ 空気清浄運転だけのときは、水タンクに給水の必要はありません。

1 側面パネルを開ける



2 水タンクを取り外す



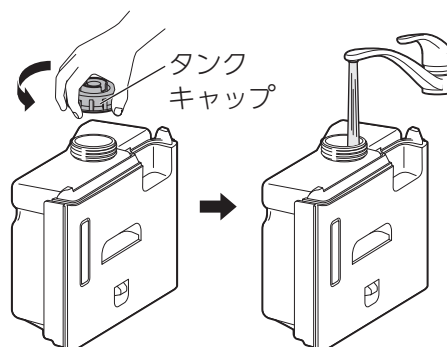
注意

● 水タンクを勢いよく引き出さないでください。

水タンク底やキャップに付いた水が飛び散って周囲がぬれることがあります。

3

タンクキャップを開けて、水道水を入れる



●必ず水道水を使用してください。ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。

●温水（40℃以上）、アロマオイル、次亜塩素酸などの化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を入れた水などは使用しないでください。

かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、本体の故障、変形・ひび割れ・変色などをおこして水ぬれや周囲の汚損の原因になります。

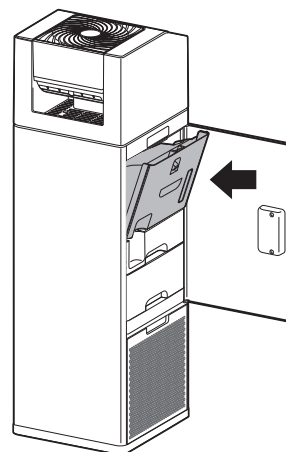


注意

4

タンクキャップをしっかり締め、水タンクを本体に取り付ける

※ 水タンクを加湿トレーにセットするときは落とさないで、ゆっくりセットしてください。破損の原因になります。



注意

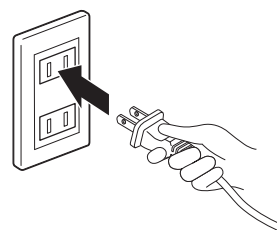
●タンクキャップは確実に締めてください。タンクキャップが斜めになっていたり、ゆるんでいたりとすると、水がこぼれて感電・火災・周囲の汚損の原因になります。

電源を入れる

5

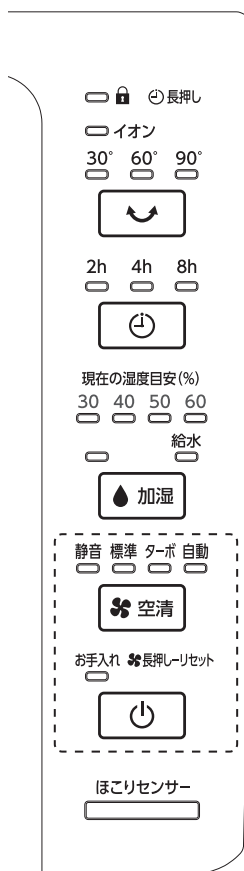
電源プラグをコンセントに差し込む

※ 差し込む前に、電源プラグや手についた水は拭いてください。感電のおそれがあります。



使いかた

空気清浄運転



1



を押す

- 運転を開始します。

2



空清 を押し、運転モードを選ぶ

- お買い上げ時は、標準モードとなっています。
- 自動モードは、ほこりの状態によって自動的に風量を調整します。
- サーキュレーターと空気清浄は連動して運転します。
- ボタンを押すたびに、次のようにモードが切り替わります。

(ランプが青色に点灯)

→ 静音 → 標準 → ターボ → 自動 (ほこりセンサーで検知) →

3



を押し、運転を止める

加湿空気清浄運転

1



加湿 を押す

- 加湿運転を開始します。
(ランプが青色に点灯)
- 水タンクに給水せずに を押すと、給水ランプが点滅します。
- 運転中に水タンクに水がなくなると、給水ランプが赤色で点滅します。給水されると消灯し、加湿を開始します。
(→P12、13)

■ 現在の湿度目安 (%)

次のように現在の湿度を表示します。

40%未満 (赤)	30	40	50	60
40%～49% (赤)	30	40	50	60
50%～59% (緑)	30	40	50	60
60%以上 (緑)	30	40	50	60

※ 湿度表示は目安です。室内の湿度計の表示とは異なる場合があります。

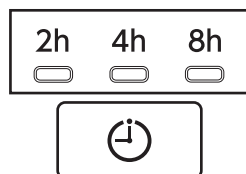
2



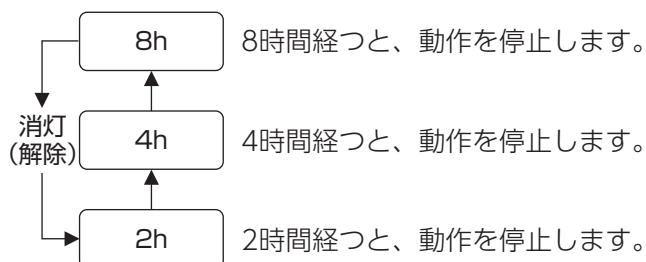
加湿 を押し、加湿運転を止める

切タイマー

製品動作を停止するまでの時間を設定します。



ボタンを押すたびに、設定時間が切り替わります。
(ランプが青色に点灯)



i お問い合わせ

- 加湿運転をする場合、切タイマー設定前に、水タンクの水量を確認してください。
水量が少ないと、設定時間前に加湿運転が停止することがあります。

イオンモード

本製品はイオン発生装置を内蔵しています。電源を入れるとイオンランプが青色に点灯し、イオンを放出します。



※ 電源を入れている間は、イオンの発生を停止させることができません。

給水ランプが点滅したとき

加湿中に水タンク内の水がなくなると、給水ランプが赤に点滅します。給水してください。(→P12、13)



- ・水タンクに給水し (→P12、13) 本体にセットすると給水ランプが消灯し、加湿を開始します。

お手入れランプが点滅したとき



次の手順でお手入れをしてください。

- ①お手入れランプが点滅したときは、 を押して運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜く
- ②側面パネルを開け、水タンク→加湿トレイ→空気清浄フィルターユニットの順に取り外す
- ③加湿フィルターユニット、加湿トレイ、水タンク、銀ビーズユニットをお手入れし (→P20～22)、本体に取り付ける
- ④電源プラグをコンセントに差し込み、 を押して運転中に を約3秒長押しして、お手入れランプを消灯させる (お手入れリセット)

- ・運転開始後2週間 (約336時間) 経過すると、お手入れランプが点滅します。

i お問い合わせ

- お手入れランプの点滅時期よりも早くお手入れした場合も、 を約3秒長押ししてください。
- お手入れしないで使い続けると、加湿量が低下したり、においやフィルター寿命低下の原因になります。こまめにお手入れをしてください。

使いかた つづき

サーキュレーター的首ふり

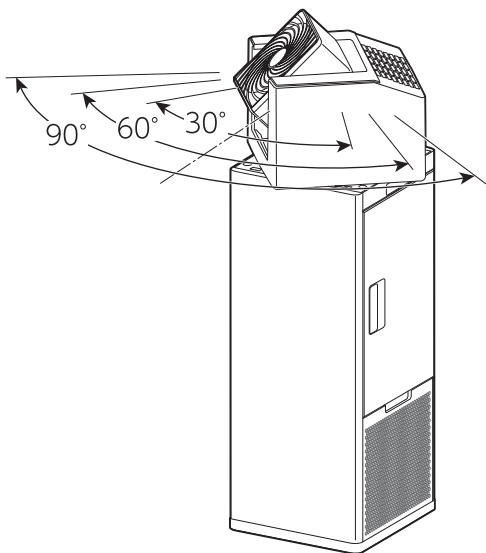
左右首ふり

- ・  ボタンを押すたびに、サーキュレーター的首ふりの角度が切り替わってランプが青色に点灯し、サーキュレーターが首ふりします。

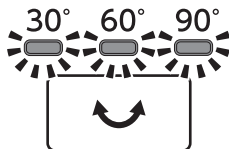
30° 60° 90°



→ 30° → 60° → 90° → 消灯 (首ふり停止)

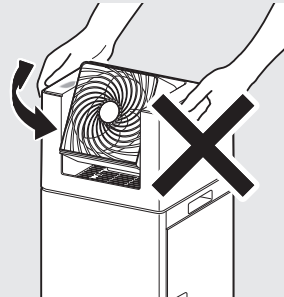


- ・ 首ふりを停止すると、サーキュレーターの向きがいったん右端まで回転、一時停止してから正面位置まで戻ります。
(※左右回転角度を初期化するための動作です。)
- ・ 正面位置まで戻る間は、**首ふりランプ**がすべて点滅します。



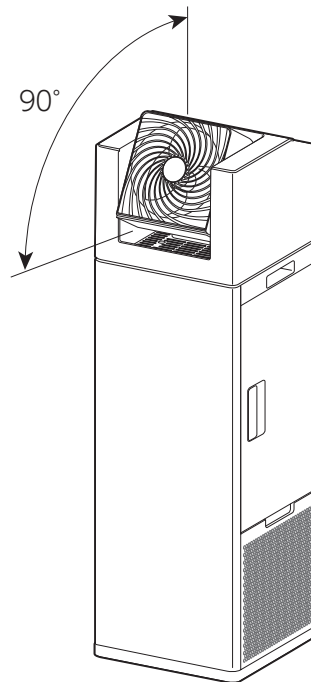
- ・ 正面位置に戻ると、**首ふりランプ**は消灯します。

- サークュレーターの左右の角度を手動で無理に変えないでください。故障の原因になります。



上下首ふり

- ※ 上下の角度は、水平～90°の範囲で手動で調節できます。(水平、30°、60°、90°)



チャイルドロック

- ・  を約3秒長押しすると、「ピッ」とブザーが鳴り、ロックされます。(ランプが青色に点灯)



- ・ チャイルドロックが設定されると、 ランプが点灯し、ボタン操作ができなくなります。操作する場合は、チャイルドロックを解除してください。

- ・ 再度  を約3秒長押しすると、「ピー」とブザーが鳴り、チャイルドロックが解除されます。

- ※ 運転中にチャイルドロックした場合は、 で運転停止の操作のみ可能です。

減光モード

運転中に30秒間の無操作を検知すると、すべてのランプを減光します。

- いずれかのボタンを押すと、減光モードが一時的に解除されます。

ほこりセンサー

センサーで計測した空気の汚れ具合をランプの色で表示します。

ほこりセンサー

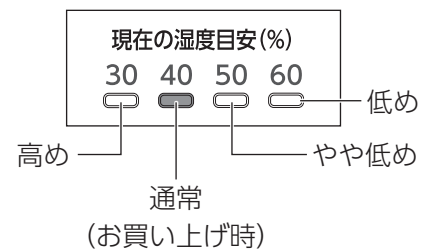
- ランプが赤色に点灯しているときは空気が汚れています。

●ほこりセンサー感度調整モード

ほこりセンサーランプがつきにくい、または頻繁につく場合は、次の手順でセンサーの感度が調整できます。

- ①電源切中に **加湿** を約3秒長押しすると、湿度表示ランプが点灯して感度調整モードに移行する
 - ② **加湿** を押して感度を切り替え、**電源** を押して確定する
- 5秒間操作がないと、感度調整モードが解除されます（感度の変更はありません）。

■ほこり感度※1



※1「低め」はセンサーが反応しにくく、「高め」はセンサーが反応しやすくなります。

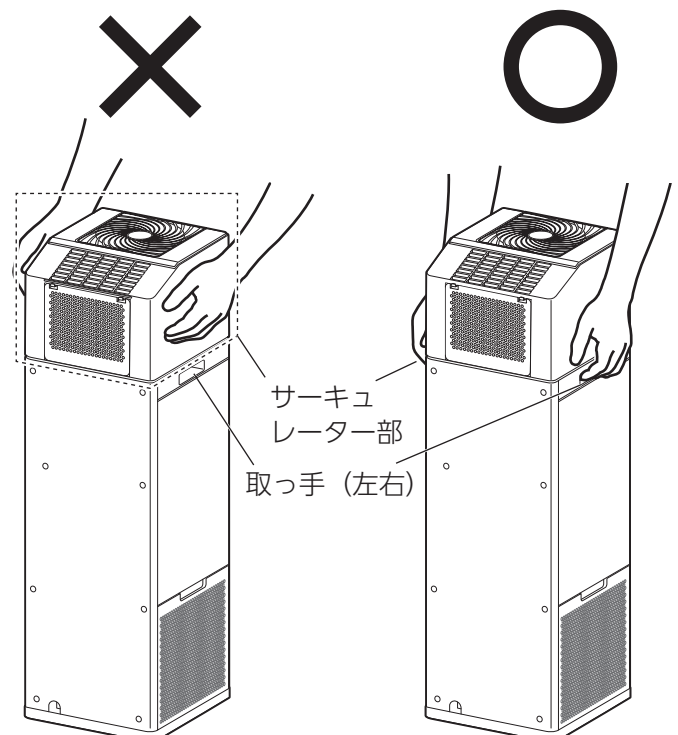
移動するときは

- 移動するときは、電源を切り、しばらくたってから水タンクと加湿トレーを取り出して排水してください。
- 左右の取っ手を持って持ち上げ、傾けないように移動してください。
- サーキュレーター部を持って移動させないでください。破損してけがの原因になります。



注意

- フローリングなど傷がつきやすい床の上では、左右の取っ手を持ち上げて移動してください。

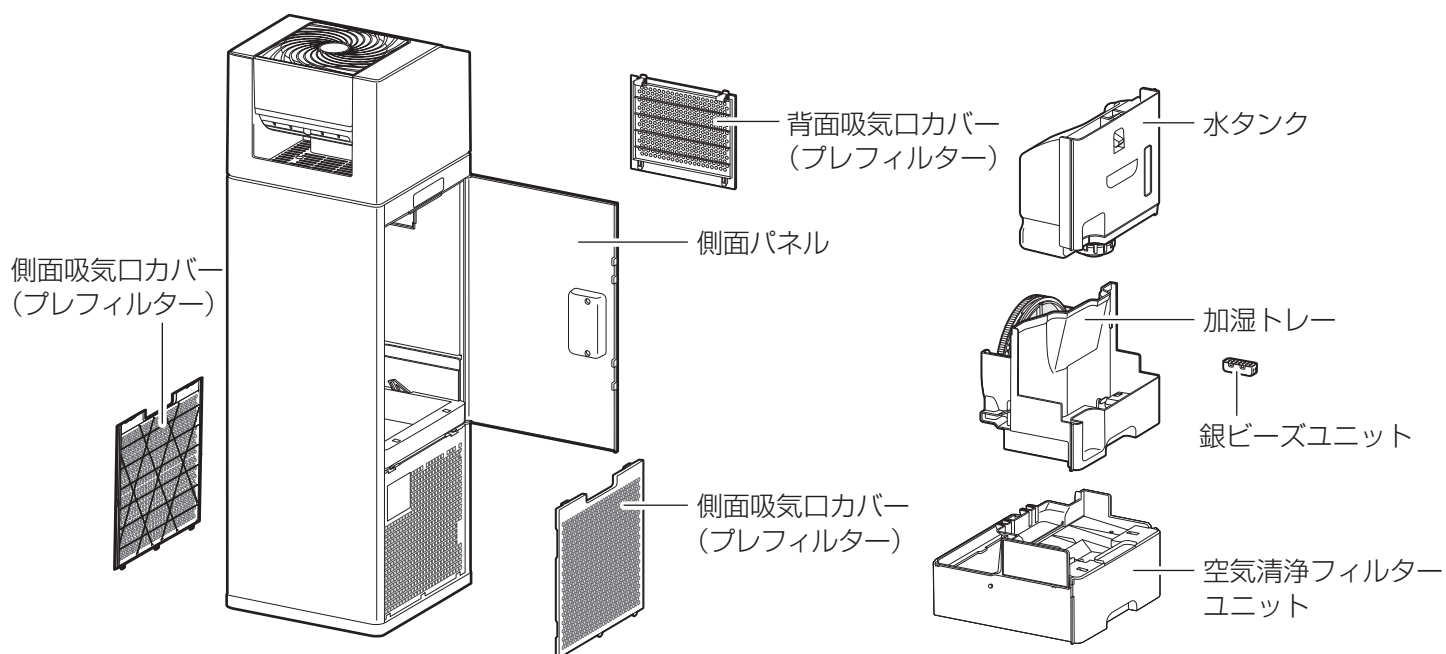


お手入れ



注意

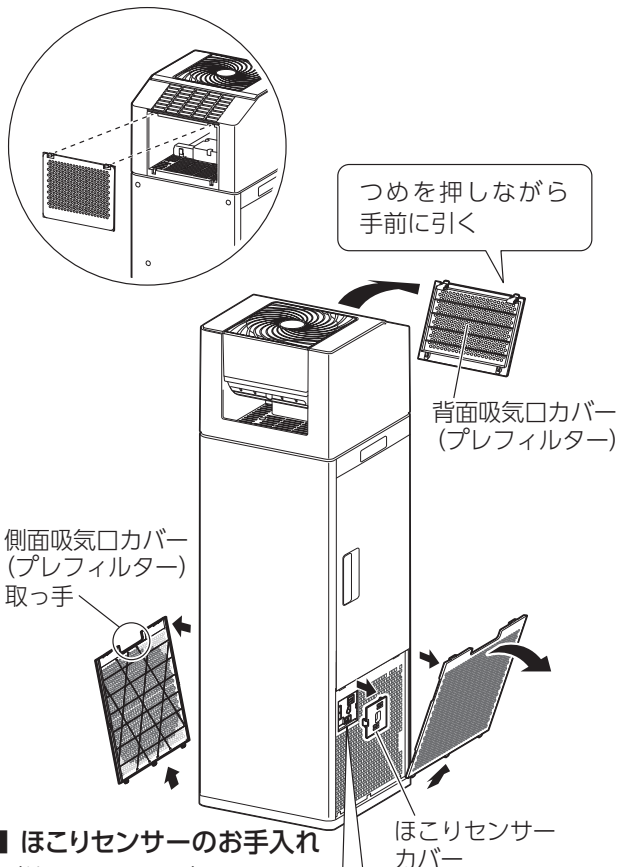
- お手入れするときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。



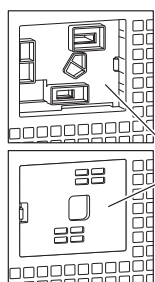
吸気口カバー（プレフィルター）

約2週間に1回

- ①運転を停止し、電源プラグを抜く
- ②吸気口カバーの取っ手を手前に引き、カバーを外す



■ ほこりセンサーのお手入れ (約3か月に1回)

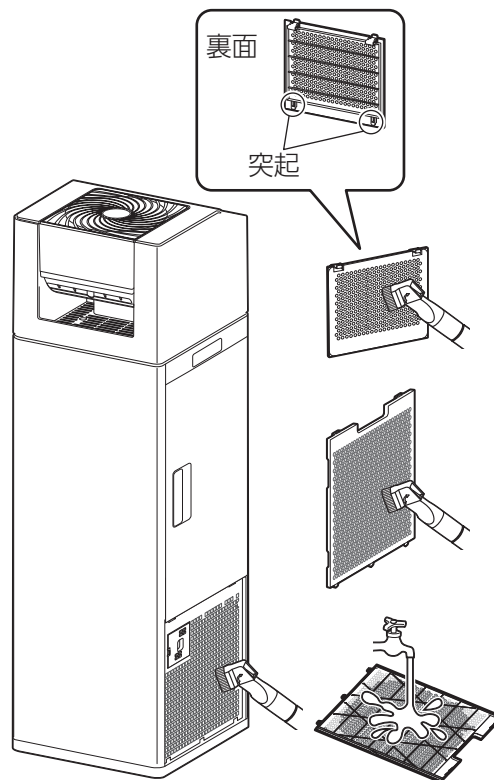


レンズ ライトなどで照らしても見えづらいため、内部左側に沿って乾いた綿棒で軽くこする

周辺のほこりは掃除機のすきま用ノズルなどで吸い取る

- お手入れ後は、ほこりセンサーカバーを確実に取り付けてください。（誤動作の原因になります。）

- ③吸気口カバー（プレフィルター）と本体の吸気口を掃除機でほこりを吸い取った後、日陰でよく乾かす



- 格子の間のお手入れには、やわらかいブラシを使用してください。
- 汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯または水（→P22）につけ置きし、洗剤が残らないように十分にすすぎ洗いしてから日陰でよく乾かしてください。

i お願い

- 綿棒や硬いたわしは使用しないでください。（フィルター部破損の原因になります。）
- 力を加えすぎないでください。（フィルター部破損の原因になります。）

- ④吸気口カバーを元通り取り付け
 - 吸気口カバー下側の突起を本体にはめ込んでから、上側を押し込みます。

お手入れ つづき

水タンク

給水のたび

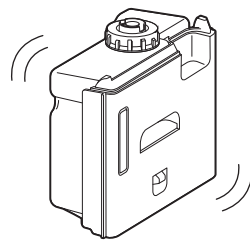
少量の水を入れ、タンクキャップを締めて振り洗いする

- 汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤が残らないように、しっかりすすいでください。

i お願い

●タンクキャップは確実に締めてください。

タンクキャップが斜めになっていたり、ゆるんでいたりすると、水が水タンクからこぼれて、本体の故障や水もれの原因となります。



加湿トレー

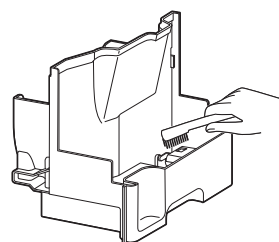
約2週間に1回

水洗いする

- 水タンク・加湿フィルターユニットは取り外してお手入れしてください。(→P21)
 - フLOATまわりは、細めのめん棒などで汚れを落としてください。(→P20)
- ※ フLOATまわりに汚れがたまると、給水ランプが誤作動するおそれがあります。

●加湿トレーの取り外しかた

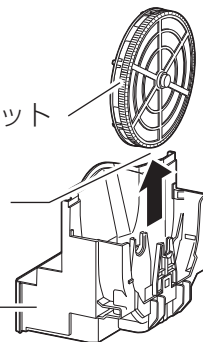
- ①「準備する」(→P10) の手順 1～2 を参照して、加湿トレーを取り外す
 - ②加湿フィルターユニットを加湿トレーから取り外す
- お手入れ後は、逆の手順で取り付けてください。



加湿フィルターユニット

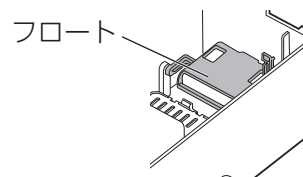
取り付けるときは、前後を正しく取り付けてください。(→P21)

加湿トレー



フLOATは取り外さないでください。

加湿運転ができなくなります。

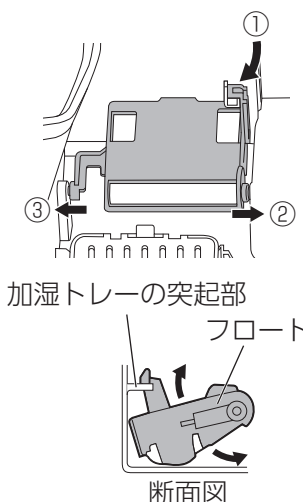


●フLOATが加湿トレーから外れた場合

- ①フLOATの突起部を、加湿トレーの突起部に載せる
- ②フLOATの突起部側の軸を、加湿トレーの穴に差し込む
- ③軸を加湿トレーの穴に差し込む

- 加湿トレーに水を入れ、フLOATが浮くことを確認してください。
- 確認後、必ず水を捨ててから、加湿トレーを本体に取り付けてください。

※ フLOATが確実に取り付けられていないと、給水ランプが消灯せず、加湿運転ができなくなります。



加湿フィルターユニット

約2週間に1回

水洗いする

- 加湿フィルターユニットのフィルター枠は外さないで洗ってください。
- 汚れが落ちにくい場合は、クエン酸を使用してつけ置き洗いしてください。

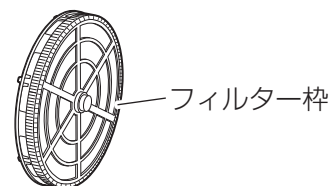
※水3Lにクエン酸を大さじ2杯（約18g）

●加湿フィルターユニットの取り外しかた

①本体から水タンク、加湿トレーを外す

- 水タンクの取り外しかたは「準備する」をご覧ください。（→P10）

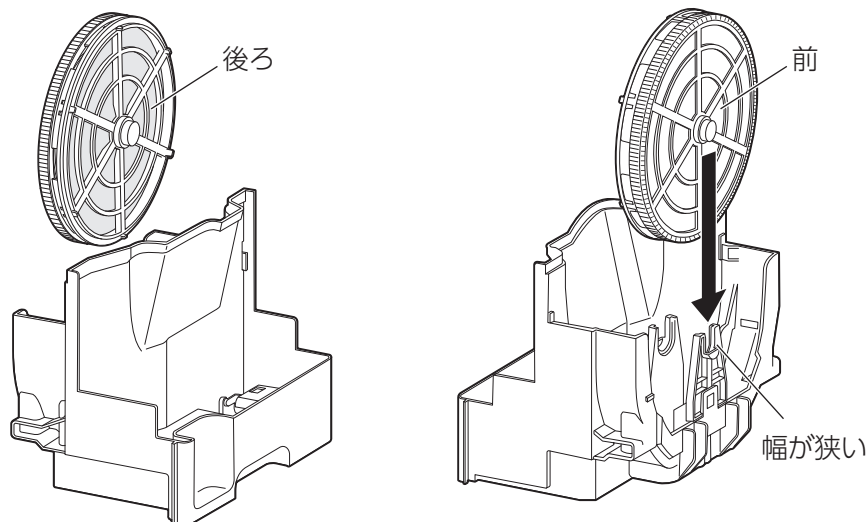
②加湿フィルターユニットを加湿トレーから取り外す



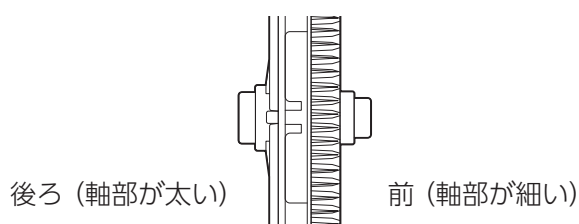
- お手入れ後は、逆の手順で取り付けてください。

① お願い

- 外すときや取り付けるときは、水がこぼれないように注意してください。また、持ち運ぶときは加湿フィルターユニットから水を抜いてください。
- 運転するときは、必ず加湿フィルターユニットを取り付けてください。
- 加湿フィルターユニットは、前後を正しく取り付けてください。細い軸部は幅が狭い加湿フィルター受けに合わせてください。



真上から見た図



後ろ（軸部が太い）

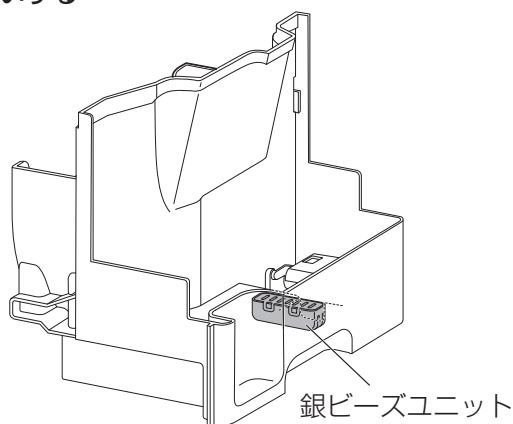
前（軸部が細い）

お手入れ つづき

銀ビーズユニット

2週間に1回：つけ置き洗い

水洗いする



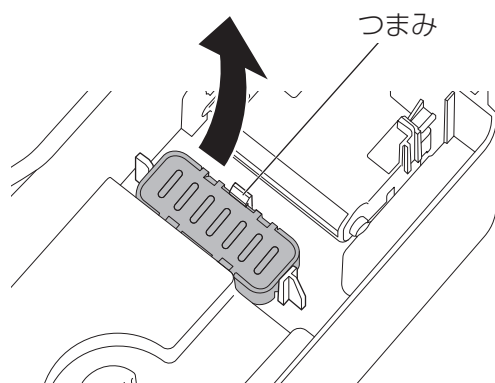
i お願い

●銀ビーズユニットは分解しないでください。

- ・銀ビーズユニットから黒い粉が出ることがありますが、性能に問題はありません。
- ・銀ビーズは使用とともに小さくなりますが、性能に問題はありません。

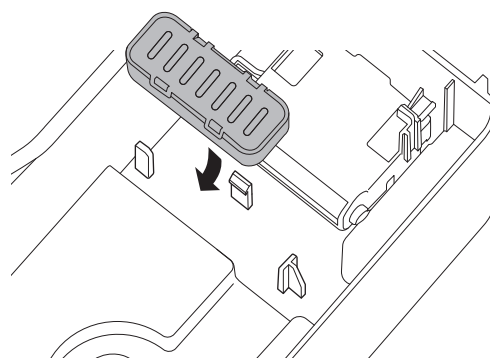
●取り外しかた

銀ビーズユニットのつまみを引き上げて外す



●取り付けかた

加湿トレーの突起に銀ビーズユニットを引っかけて入れる



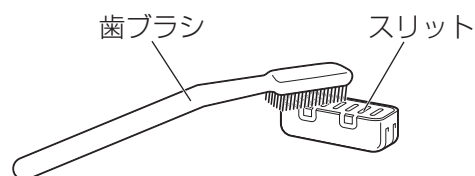
つけ置き洗いする

①クエン酸または台所用中性洗剤で約30分間つけ置き洗いしてください。



②水洗いし、本体にセットしてください。

汚れがひどい場合は、歯ブラシなどで軽くこすって汚れを洗い流してください。
本体にセットするときは、スリット面が上になるようにセットしてください。



クエン酸・台所用中性洗剤の使いかた

●クエン酸水溶液の作りかた

3Lの水またはぬるま湯に対し、クエン酸20gまたは大さじ1すりきり2杯を入れてよく溶かします。
※濃度が高いと部品が破損するおそれがあります。

●台所用中性洗剤の分量

2Lの水またはぬるま湯に対し、台所用中性洗剤を20ml溶かします。

●使いかた

①クエン酸または台所用中性洗剤を溶かした水またはぬるま湯につけ置きしたあと、すすぎ洗いをしてください。

銀ビーズユニットのつけ置き時間：30分間

②新しい水ですすぎ洗いをしてください。

水を入れ替えて、2～3回繰り返すすぎ、洗剤・クエン酸が残らないように十分に水洗いしてください。

脱臭フィルター

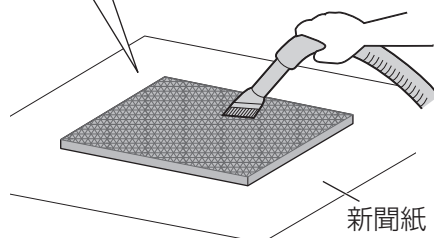
においや汚れが気になるとき

i お問い合わせ

- 水洗いはしないでください。(水洗いをすると型くずれして使用できなくなります。)

- ・ 空気清浄フィルターユニットから取り外して掃除機でほこりを軽く吸い取ってください。
- ・ においが気になる場合は、日陰で風にあててください。(約1日)
- ・ 表面をこすらないでください。

新聞紙などを敷いて、裏と表を掃除機で吸い取る



集塵フィルター

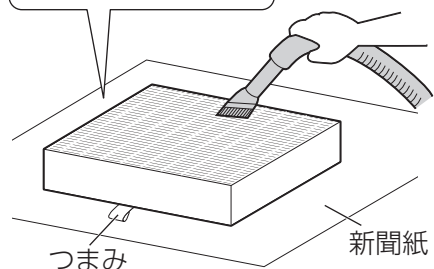
2週間に1回

i お問い合わせ

- 水洗いはしないでください。

- ・ 空気清浄フィルターユニットから取り外して、つまみのない面のほこりを掃除機で軽く吸い取ってください。
(フィルターは破れやすいので、十分に注意してください。)
- ※ フィルターが破損して、穴が開くなどした場合、ほこりがフィルターを通りぬけるため、集塵性能が低下します。

新聞紙などを敷くと周りが汚れません

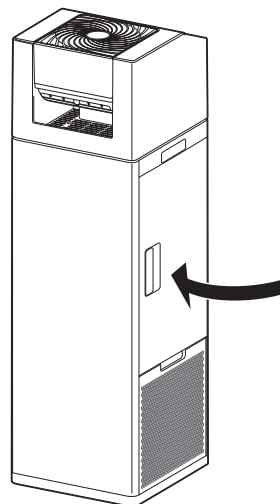
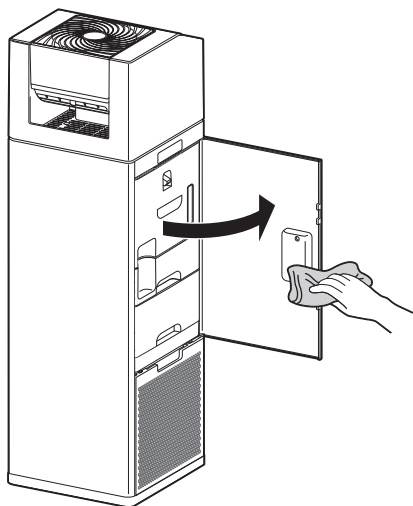


本体

約1か月に1回

よく絞った柔らかい布で拭く

- 側面パネルを開け、水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布をよくしぼって、汚れを拭き取ってから、側面パネルを閉めてください。

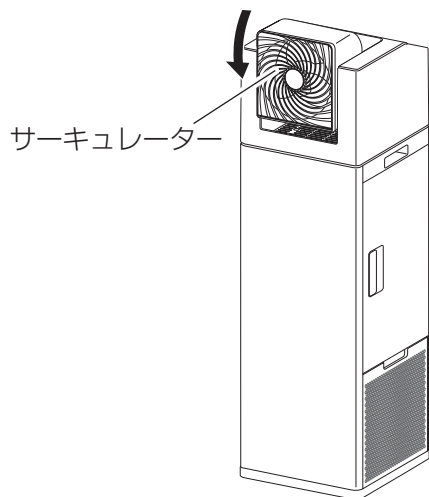


お手入れ つづき

サーキュレーター部

約1か月に1回

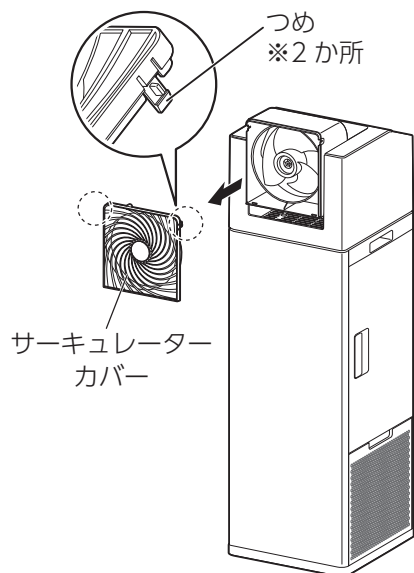
- ①運転を停止し、電源プラグを抜く
- ②サーキュレーターを手動でまっすぐ前に向ける



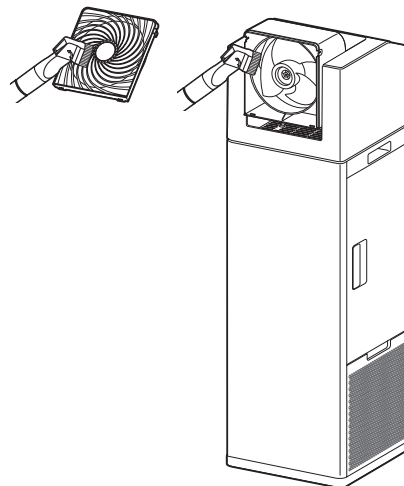
- ③横のつめを押しながら、サーキュレーターカバーを取り外す

！ポイント

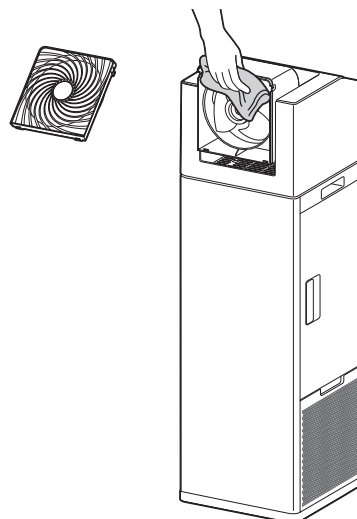
- 左右のつめを同時に押すと、取り外しやすくなります。



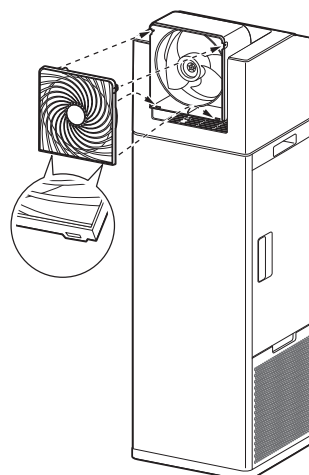
- ④掃除する
- ・掃除機などでゴミを取り除いてください。



- ・掃除機で取りきれない箇所は、柔らかい布などで拭いてください。



- ⑤サーキュレーターカバーを取り付ける
- ・つめの位置を合わせて、しっかりはめてください。
 - ①下側をひっかける
 - ②上側のつめを押し込む



加湿フィルターの交換

加湿フィルター交換時期の目安は、約2年に1回です。(1日8時間運転で定期的なお手入れをした場合)

・「別売品」(→P31)をご覧ください。

※ 交換の目安は、加湿量が約半分に落ちるまでの期間です。ただし、水質やご使用状況により寿命が変わるため、次の場合は交換してください。

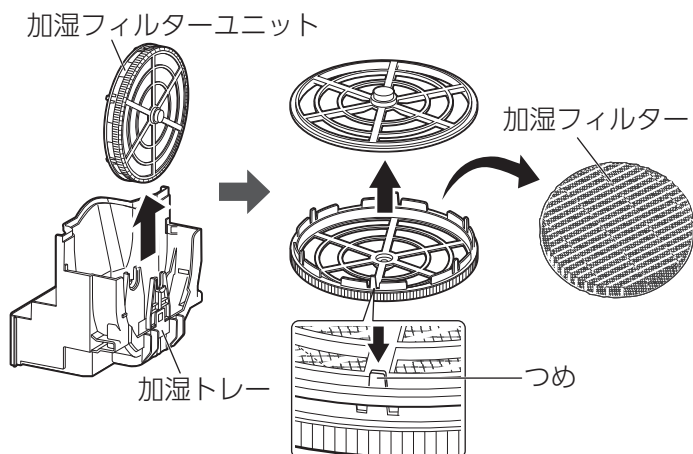
- ・ お手入れしても、においが取れない、汚れが落ちない
- ・ 水タンクの水が減らない
- ・ 傷みがひどい

※ 加湿フィルターは不燃物として捨ててください。

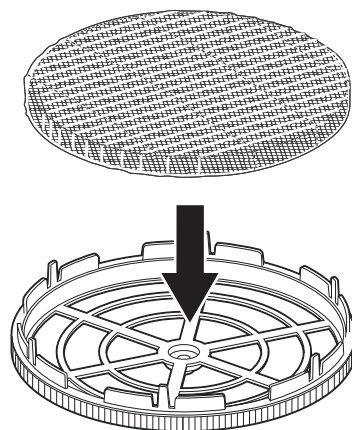
※ フィルター枠は捨てないでください。

●加湿フィルターの交換方法

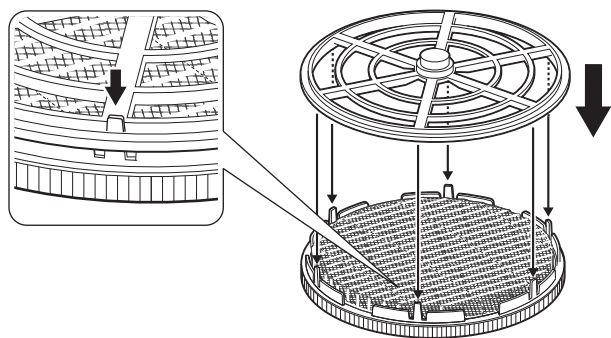
①加湿フィルターユニットを加湿トレーから取り外して、フィルター枠のつま6か所を外し、加湿フィルターを取り出す



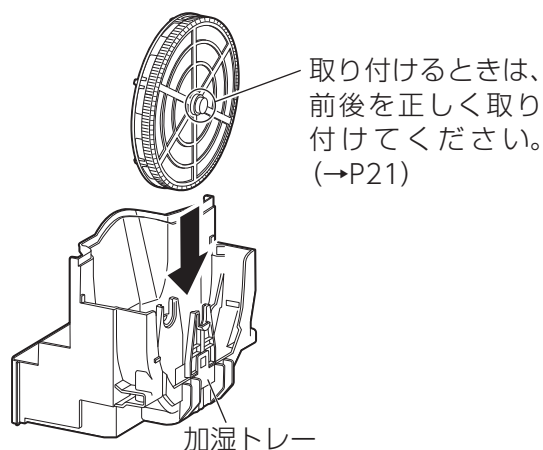
②フィルター枠に、新しい加湿フィルターを取り付ける



③フィルター枠をつま6か所がカチッとなるまで取り付ける



④加湿フィルターユニットを加湿トレーに取り付ける



集塵フィルターの交換

集塵フィルター交換時期の目安は、約2年に1回です。(使いかた、設置場所により異なります。気になる場合は、交換してください。)

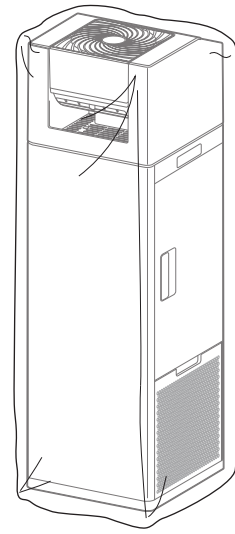
・「別売品」(→P31)をご覧ください。

・ 集塵フィルターの取り外しかた・取り付けかたは「準備する - 集塵フィルター・脱臭フィルターを取り付ける - 」の手順2～6をご覧ください。(→P10・11)

お手入れ つづき

長期間使用しないとき

- ①水タンク内、加湿トレー内の水を捨てる
- ②本体内部の水を拭き取り十分に乾燥させる
 - ・各部品のお手入れ後、水分をよく拭き取り、十分に乾燥させてください。
 - ・水タンク・加湿フィルターユニット・銀ビーズユニットはかびの発生を防ぐために十分に乾燥させてください。
- ③湿度が低い場所に保管する
 - ※ ほこりがたまらないように箱かポリ袋に入れ、直射日光の当たらない湿気の少ない場所で保管してください。



よくあるご質問

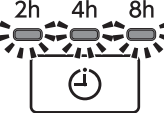
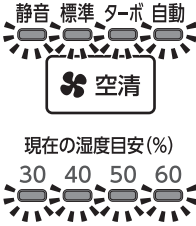
Q		A
集塵フィルター	水洗いできますか？	水洗いできません。 (集塵フィルターの性能低下の原因になります。) 汚れがひどい場合は掃除機でほこりを吸い取る、または交換してください。 (→P23、25)
	すぐ黒くなるのですが・・・	集塵性能は変わりませんが、気になる場合は交換してください。(→P25)
脱臭フィルター	水洗いできますか？ 交換は必要ですか？	水洗いできません。 (水洗いすると型くずれして使用できなくなります。) 水洗いしてしまった場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。 交換の必要はありません。 においが気になる場合は、日陰で風にあててください。(約1日) (→P23)
加湿	加湿運転中に蒸気が見えないのですが・・・	水を沸とうさせて蒸気を出す方式ではなく、加湿フィルターに風をあてて気化させる方式のため、蒸気は見えません。
	加湿運転中に吹き出す風が冷たいのですが・・・	加湿フィルターに含まれる水が気化するときに空気中の熱をうばうため、吸い込んだ空気より少し低い温度の風が吹き出します。
	加湿しているのに湿度が上がらないのですが・・・	設置するお部屋の広さや室内の湿度状態によっては、湿度が上がりにくくなることがあります。 また加湿フィルターユニットが汚れていると性能が低下します。定期的にお手入れしてください。(→P21)

こまったときは・・・

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

状態	原因・処置
加湿されない	加湿モードが、切になっていませんか？ 加湿ボタンを押してください。
加湿されない (給水ランプが点滅している)	水タンクの水を使い切っていませんか？ 水タンクに給水してセットし、加湿トレー内に水が供給されたら、加湿を開始します。 (→P12、13)
	水タンクがきちんとセットされていますか？ 水タンクをきちんとセットしてください。
	水タンクから加湿トレー内に水が十分供給されていますか？ 水タンクに満水まで給水し、本体にセットしてから、加湿トレー内に水が供給されると給水ランプが消灯し、加湿運転を開始します。
	フロートを確実に取り付けてください。(→P20)
本体から音がする	水タンクから水が流れ落ちるとき、空気の抜ける「ポコポコ音」がすることがあります。 異常ではありません。
運転中に、「ビュー」「バサバサ」という音	吸気口カバー（プレフィルタ）にほこりがたまっていますか？ お手入れをしてください。(→P19)
	集塵フィルターが目詰まりしていませんか？ お手入れをしてください。(→P23) ご使用状況によっては、目詰まりして寿命が短くなることがあります。 お手入れをしても改善しない場合は、集塵フィルターを交換してください。(→P25)
運転音大きい	集塵フィルターが正しく取り付けられていますか？ 正しく取り付けられていない場合、音が大きくなることがあります。(→P11)
空気清浄機から風が少ししか出ない	脱臭フィルターと集塵フィルターが透明ポリ袋に入ったままになっていませんか？ 袋から出して、正しく取り付けてください。(→P11)
音大きい	
においや煙が取れない	
フィルター交換時期に達する前に、においや煙が取れにくくなった	空気中の汚れが通常の家より多い環境で使用していませんか？ 早めにフィルターを交換してください。(→P11、25)
操作パネルのランプが暗い	いずれかのボタンを押すと一時的に通常の明るさに戻ります。(→P17)
電源が入らない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない可能性があります。電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
風が弱い	自動運転モードで、周囲の空気がきれいだからです。(→P17)
	吸気口カバー（プレフィルタ）にほこりがたまっていますか？ほこりを取り除いてください。
吹き出し口からの風がおう	脱臭フィルター、加湿フィルターユニット、加湿トレーが汚れている可能性があります。 お手入れ方法を確認し、お手入れをしてください。(→P20、21、23)
ほこりセンサーランプがつきにくい、または頻繁につく	ほこりセンサーの感度調整を行ってください。(→P17)

■ エラー表示

状態	原因・処置
	水タンクの水がなくなりました。給水をしてください。
すべてのランプが消灯	空気清浄フィルターユニットが外れています。空気清浄フィルターユニットを取り付けてください。(→P11)
点灯しているランプがすべて点滅	転倒時安全スイッチが働いています。電源プラグをコンセントから抜き、水平で安定した床の上に設置して、しばらくしてから再度電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れ直してください。
	センサー異常です。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再度電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れ直してください。
	モーター異常です。電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再度電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れ直してください。
	内部回路異常です。電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再度電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れ直してください。
	電源異常です。電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再度電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れ直してください。

それでも解決できないときは
お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

 **警告** ●ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

仕様

型番			KCHA-A55					
定格電圧			AC100V					
定格周波数			50 / 60 Hz					
運転モード			空気清浄			加湿空気清浄		
			ターボ	標準	静音	ターボ	標準	静音
消費電力 (W)	首ふり	オフ	91	28	19	94	31	21
	首ふり	オン	92	29	21	95	32	23
加湿量 (mL/h) ※1			※2			500	320	265
適用床面積 (畳)			25 ※3			木造住宅和室 8.5 ※4 プレハブ住宅洋室 14		
連続加湿時間 (ターボモード時)			約5.5時間					
タンク容量			約2.7L					
動作温度			5 ～ 35 ℃					
外形寸法			幅271×奥行282×高さ880mm					
質量 (水を含まず)			約12.2kg					
電源コード長			約2.4m					

※1. 室温20℃、湿度30%の条件下での加湿量です。室内の温度や湿度によって、加湿量は異なります。

※2. 水タンクに水が入っている場合は、水タンクの水が減りわずかに加湿します。

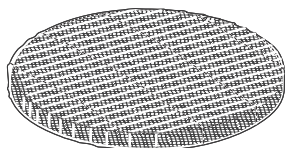
※3. 適用床面積の数値はJEM1467に基づく数値です。([ターボ] モード時)

※4. 適用床面積の数値はJEM1426に基づく数値です。([ターボ] モード時)

別売品

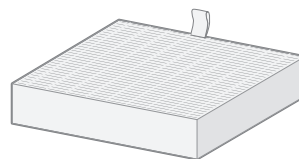
加湿フィルター 型番CHA-A55-F

※ 約2年に1回を目安に交換してください。



集塵フィルター 型番CHA-A55-HF

※ 約2年に1回を目安に交換してください。



別売品についてはお買い上げの販売店またはアイリスプラザ (<https://www.irisplaza.co.jp>) でお買い求めください。



保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用のサーキュレーター付加湿空気清浄機の点検を！		
愛情点検 	こんな症状はありませんか	● 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする ● 本体に触れるとピリピリ電気を感じる ● 水もれする ● 運転中に異常な音がする ● 電源コードが傷ついている ● その他の異常や故障がある
		ご使用中止 故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

サーキュレーター付加湿空気清浄機 型番KCHA-A55

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間		お買い上げ日より：1年間	
年 月 日				ただし、消耗品を除く	
お客様	お名前			※ 販売店	住所・店名
	ご住所 〒				
	電話 () -				
			電話 () -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関する
お問い合わせ
(通話料無料)

アイリスコール 0120-311-564

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関する
お問い合わせ
(通話料無料)

修理専用コール 0800-170-7070

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。